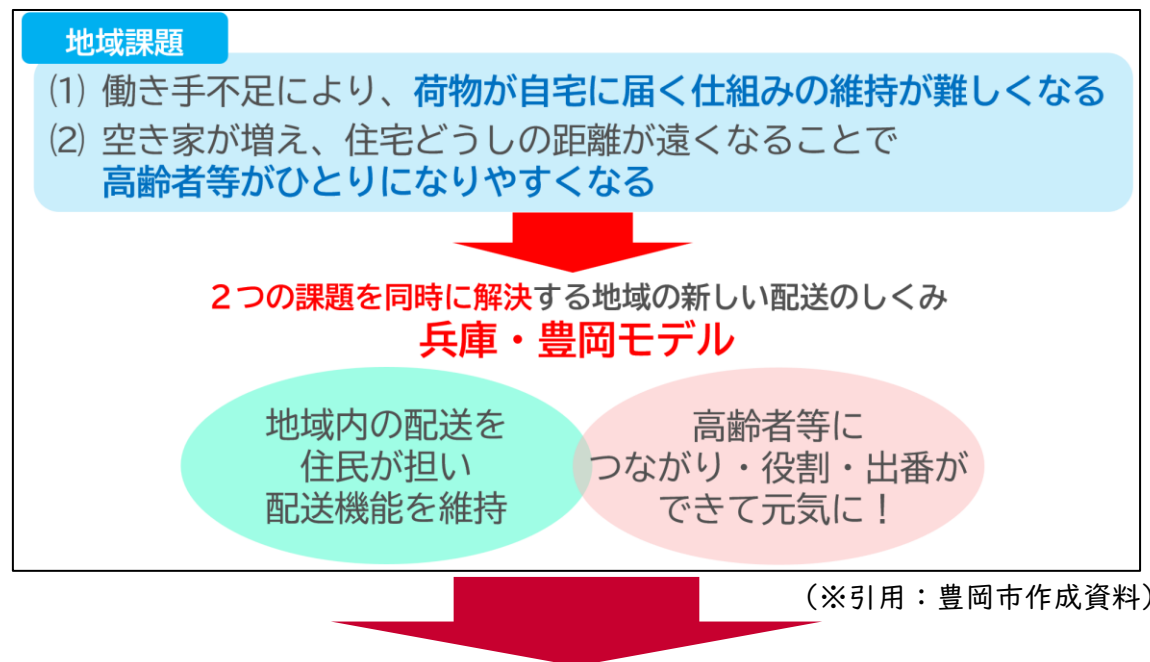


実施背景

■ 今後の生産年齢人口の減少を見据えた住民生活・サービスの持続可能性確保の取組の一環として、地域住民が担う配送サービス「コミュニティ配送」を試行



目指すもの

- ✓ 豊岡市 : 住民の生活・サービスの維持、配送業務を通じたコミュニティ活性化
- ✓ 日本郵便 : 将来の中山間地域での集配ネットワークの持続可能性の確保
- ✓ 地域住民 : 持続可能な地域づくりの推進（人的リソースの活用と独自財源の創出）
- ✓ 兵庫県 : 上記を踏まえた“兵庫・豊岡モデル”の実現

実証概要

■実施目的：JPから公民館への荷物授受及び、公民館から住民への配送フローの検証

■実施期間：

第1クール 2025年11月12日（水）、13日（木）、15日（土）、19日（水）、20日（木）

第2クール 2025年12月10日（水）、11日（木）、13日（土）、17日（水）、18日（木）

■実施体制：「配送員」地域住民（地域交通「チクタク」ドライバー）

「配送管理者」資母コミュニティセンター職員

「企画運営」豊岡市役所、日本郵便 等

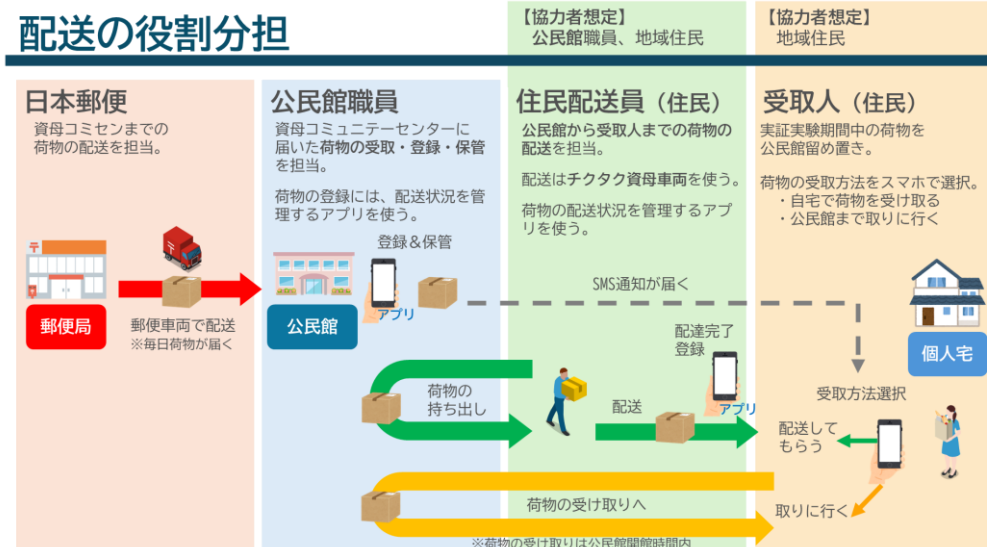
■配送物：宅配便を模擬した荷物（15個／日）

実証結果

- 配送フロー及び配送作業の具体的な内容について、おおむね問題なく実行できることを確認
- 全体の作業時間についても、ドライバーが異なる場合でも一定の時間内で進捗できることを確認
- 実証地区の住民アンケートの結果、「利用してもよい」が80%、「将来の地域のために必要」は60%と、一定の受容性を確認

<配送フローイメージ>

（※引用：豊岡市作成資料）



実証概要

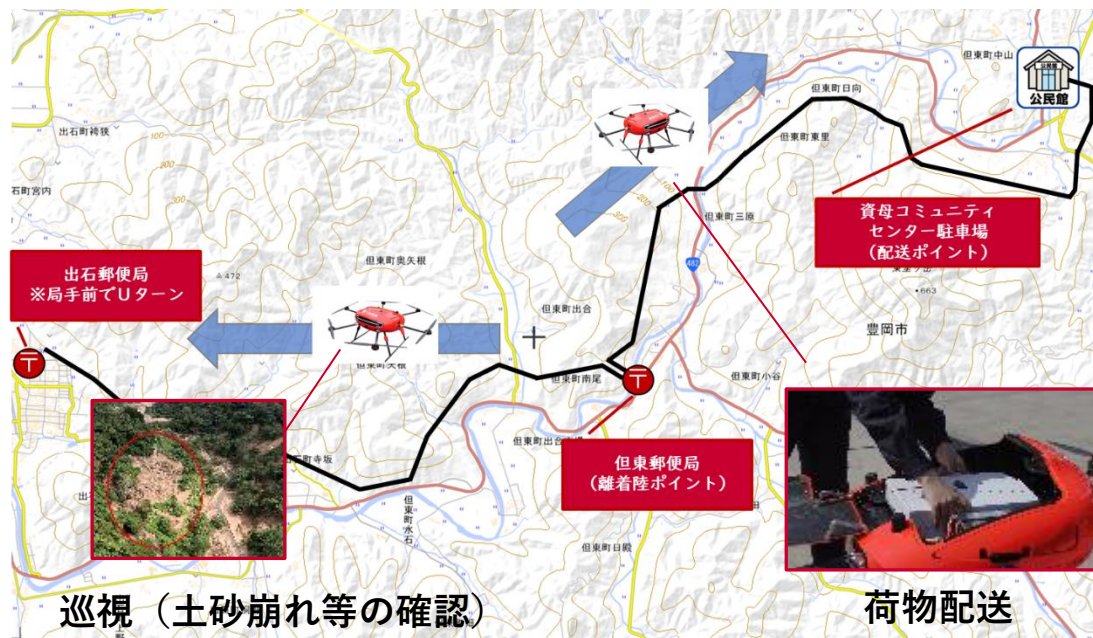
「多数機同時運航」実証

■目的：多数機同時運航による1機体当たり運用コストの低減に向けた知見獲得

■内容：「無人航空機の多数機同時運航を安全に行うためのガイドライン」（2025年度3月国土交通省公表）に基づく、「物流」・「巡視」の用途での同一型式による2機体同時飛行（日本初）

■日程：2026年2月24日（火）～3月3日（火）

実証結果



<使用機材>



ACSL社 PF4



専用包装箱
（耐水・簡易搭載）

- サイズ : 2.3m × 2.5m × 0.6m（プロペラ含む）
- 動力 : バッテリーEV
- 最大離陸重量：24.9kg（最大積載重量：5.5kg）
- 最大大気速度：25.0m/s
- 最大飛行距離：40km以上（荷物5.5kg搭載時）
- 最大耐雨量 : 10mm/h
- その他特徴 : マルチペイロードでLiDAR/カメラも搭載可能

（地図出展：国土地理院地図をもとに日本郵便作成）

実証概要

- A C S L 社と共同開発中の「P F 4」を活用し、兵庫県豊岡市出石～但東町内で試行
 - 新型機体の航続性能を活かし、最大で1フライトあたり25.5km（約40分）の配送を実現
 - 現地の郵便局に専門要員を配置しない、東京からの完全遠隔運航を実現
- （参考）計15日間実施（※雨天含む）し、飛行回数46回（総飛行距離523.1km／843.6分）



（地図出展：国土地理院地図をもとに日本郵便作成）

